

浄土真宗東本願寺派野中山正山寺

ほつ寺通信

※ご家族でご覧ください

第30号

令和5年3月1日
5月3日発行
（住職）藤野慶

住職の仏々

皆様こんにちは。この寺報も30号を迎えました。年数にすると10年です。これも皆様の励ましのお陰かと感謝しております。それにしてもここ3年はコロナ禍に振り回され、身も心も疲弊されているのではないのでしょうか。ただ、行動制限がないことから感染に気をつけてつつ、徐々に日常に戻ってきている実感もありますね。政府の旅行支援により観光地も賑わいを見せてきているようです。しかし、体は正直で、疲れやすく、体力や免疫力も落ちているのではないのでしょうか。免疫力が落ちると新たな細菌やウイルスに負けてしまふとも聞きます。この体力や免疫力を回復させる一番の近道は筋肉を付けることだそうです。そして、体の中で筋肉量が多いのは、

下半身の太ももとふくらはぎに筋肉の六割が存在するとか。ですので、歩くことが健康に良いというのには理にかなっているようです。本山の御法主台下（御住職）は毎朝1万歩の散歩を欠かさず実践されているそうです。私も真似してみようかと思いましたが、三日坊主になりそう…そこで、もう少し気軽に始められそうなことを考えてみました。それは、正山寺の階段を上り下りすることです。大門を超えその先にある本堂正面への階段が43段、そして左側の桶置き場横から始まる階段を69段登ると、最上段まで行けます。寒い日もこれを登っただけで、息が切れ暖かくなります。そして、そこから右方向に進み道路に出て本堂の真後ろの辺りまで歩くと、ご褒美に富士山の山頂を拝むことが出来ます。お寺の静かな環境で心

を落ち着かせながら、煩惱108を超える112段の階段を上り下りして密かに鍛える（笑）。皆さんもいかがですか？ただ結構キツイので呉々も無理をなさらないように。階段が厳しい方は散歩から始めてみては。体を動かして免疫力を高めましょう。つぶやきにしては長すぎですね…すみません。



本堂への階段



上の道路からの眺め
(右の重機はリニア新幹線の掘削工事)

春の彼岸

- 3月18日（彼岸入り）
- 3月21日（中日・春分の日）
- 3月24日（彼岸明け）

まもなく春の彼岸となります。ご先祖あつての私たち、お墓参りをされる中で、阿弥陀仏そしてご先祖様と向き合い、ご自身の人生を見つめ直す良いご縁となりますように。また中々会えないご家族に会うキッカケとして頂くのもご

先祖様のお導きです。寺族共々皆様の参詣をお待ちしております。

この期間内、混雑の予想される18日・19日・21日（火・祝）に交通整理をお願いする予定です。参詣の際は、事故の無いようお気をつけてお越し下さい。

3月21日（火）午後2時

永代供養合同法要

彼岸の中日午後2時より、永代供養「正安の縁」会員様向けの合同法要を行います。※雨天決行参加される方は、開始10分程前に本堂にお越しください。お早くお着きの方は、休憩所等でお待ちください。※費用不要。御一緒に正信偈を読み、納骨されている方に思いを巡らしつつ、御本尊阿弥陀様に報恩感謝致しますよう。



会員数も増え、賑やかになってきました。永代供養をお考えの方は、お気軽にお問い合わせください。随時見学も承っております。（要予約）

迷惑

「迷惑」という言葉は、ある人のした事が元で、他の人が困ったり嫌な思いをすることについて使われることが多いようです。例えば、近所迷惑や前ページの「住職の仏々」（つぶやきにしては長くて迷惑を掛けました：笑）など。仏教では、本来の意味として、文字通り、心が「迷い・惑う」とを表していました。それが徐々に人間関係で他者に不利益を与える意味に変化していったようです。良く高齢の親が子に「迷惑かけてごめんね」と言うことがあるかと思いますが、これって子にとって本当に不利益なことでしょうか？心が「迷い・惑う」ことはあっても親孝行させて頂けると思えば、不利益にはならないでしょう。ですので、ここは「迷惑かけるねありがとう」と言ってみてはどうでしょう。遥かに前向きで、子も感謝されて嬉しいのではないのでしょうか。言葉は使い方次第で「迷惑」にもなります。誤解なきよう良い意味で使いたいものですね。

境内整備報告

昨夏、左側参道スロープの途中、危険な箇所にはフェンスを設置し、法面保護の劣化箇所の補修（ブロッツク積み）も行いました。安全面と厳かさを重視し期待通りの施工となりました。最初のつぶやきではないですが、一度、左スロープを通りつつ、正山寺全体を一周するような散歩をされてみては。健康にも良いですし、新たな発見があるかもしれませんよ。



左側と同じように施工をされてみては。健康にも良いですし、新たな発見があるかもしれませんよ。

坊守のコラム

ぼうもり※住職の妻

最近「ほつ寺通信楽しみにしています」と仰って頂くことが増え、プレッシャーを感じつつも嬉しく思っています。きつと今回は「住職、続けて歩いていますか？」と質問が来るかもしれません。(笑) さて、今回も息子の話しを少し。もうすぐ五年生。習う漢字も難しくなりました。皆さん、今、都道

府県の位置を把握しつつ、漢字で書く事が出来ますか？私は少し怪しいです。特に西の方の位置関係が…。今、学校で位置と漢字を正確に書けるようにテストしている。全都道府県、全て正解を2回出来るまで、再テストです。息子は、島根県が出てこなかったり、長崎の崎と埼玉の埼がちやごちやになったりと惜しいミスで、挑戦中です。六年生になると、歴史も習い始めます。私は、理科や社会が苦手でした。これって役立つの？と思いつながら、授業を受けていた気がします。大人になり、大河ドラマで時代劇を見るなんて思ってもいませんでした。今後の展開はどうだったかなと、時代背景を忘れていたり。きちんと先生の解説を聞いていたら…なんてことを痛感しました。なので息子には、興味を持ってもらえたら、と歴史の漫画を用意してみました。まだ全然興味がないようです。因みに正山寺は、初代住職祐玄が、元和（げんな）元年（1615年）に創立し、408年目になります。江戸時代の始め、出来事という

大阪夏の陣の辺りです。そして現在の住職慶正が十四代目となります。稀に昔の事を聞かれる事がありますが、詳しくはないので、この辺で…。正山寺豆知識でした。

あとがき

記念すべき30号の寺報も無事書き終えました。特に記念的な記事にならず、いつも通りの他愛も無い話が多くなってしまいました。皆様の迷惑にならないければ良いのですが…(笑)ただ、このいつも通りというのは長く続ける秘訣のような気がします。これから「ほつ寺(てら)通信」をお楽しみ頂けたら幸いです。お元気で。

寺報「ほつ寺通信」第30号

浄土真宗東本願寺派 正山寺

住職：藤野慶正（発行責任者）
住所：〒194-0201 東京都上野区山田1-5-4
電話：042-797-1446
FAX：042-797-9233
URL：<http://shousan.net>
メール：info@shousan.net